

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分
 【発行日】平成 18 年 6 月 15 日 (2006.6.15)

【公開番号】特開 2004-327272 (P2004-327272A)
 【公開日】平成 16 年 11 月 18 日 (2004.11.18)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-045
 【出願番号】特願 2003-121313 (P2003-121313)
 【国際特許分類】

H 0 5 B 33/10 (2006.01)

C 2 3 C 14/24 (2006.01)

H 0 5 B 33/04 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

【F I】

H 0 5 B 33/10

C 2 3 C 14/24 C

C 2 3 C 14/24 G

H 0 5 B 33/04

H 0 5 B 33/14 A

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 4 月 21 日 (2006.4.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基板投入室、該基板投入室に連結された搬送室、該搬送室に連結された成膜室、該成膜室に連結された第 1 乃至第 3 の設置室とを有する製造装置であって、

前記成膜室は、

マスクと基板の位置合わせを行うアライメント手段と、

基板保持手段とを有し、

前記第 1 の設置室は、第 1 の蒸着源を移動させる手段を有し、

前記第 2 の設置室は、第 2 の蒸着源を移動させる手段を有し、

前記第 3 の設置室は、第 3 の蒸着源を移動させる手段

を有することを特徴とする製造装置。

【請求項 2】

請求項 1 において、

前記第 1 の設置室は、前記第 1 の蒸着源に蒸着材料をセットする機構を有し、

前記第 2 の設置室は、前記第 2 の蒸着源に蒸着材料をセットする機構を有し、

前記第 3 の設置室は、前記第 3 の蒸着源に蒸着材料をセットする機構を有していること

を特徴とする製造装置。

【請求項 3】

請求項 1 または請求項 2 において、

前記第 1 の蒸着源乃至前記第 3 の蒸着源各々は、前記成膜室内を X 方向、Y 方向または Z 方向に移動可能であることを特徴とする製造装置。

【請求項 4】

請求項 1 乃至請求項 3 のいずれかーにおいて、

前記第 1 の蒸着源乃至前記第 3 の蒸着源各々は、蒸着材料を収納する容器を有し、
前記容器は開口部を有し、前記開口部は細長い形状であることを特徴とする製造装置。

【請求項 5】

請求項 4 において、

前記容器は、上部パーツと下部パーツとを有し、

前記第 1 の蒸着源乃至前記第 3 の蒸着源から蒸発する蒸着材料の広がり方は、前記上部
パーツの有する開口部の形状で調節されることを特徴とする製造装置。

【請求項 6】

請求項 4 または請求項 5 において、

前記容器は、上部パーツと下部パーツとを有し、

前記上部パーツは、第 1 の加熱手段に取り囲まれ、

前記下部パーツは、第 2 の加熱手段に取り囲まれ、

前記第 1 の加熱手段と前記第 2 の加熱手段は、互いに異なる電源に接続されていること
を特徴とする製造装置。

【請求項 7】

請求項 4 または請求項 5 において、

前記第 1 の蒸着源乃至前記第 3 の蒸着源のうち少なくとも 1 つの蒸着源は、第 1 の容器
と第 2 の容器を有し、

前記第 1 の容器は、第 1 の加熱手段に取り囲まれ、

前記第 2 の容器は、第 2 の加熱手段に取り囲まれ、

前記第 1 の加熱手段と前記第 2 の加熱手段は、互いに異なる電源に接続されていること
を特徴とする製造装置。

【請求項 8】

請求項 4 または請求項 5 において、

前記第 1 の蒸着源乃至前記第 3 の蒸着源のうち少なくとも 1 つの蒸着源は、第 1 の容器
と第 2 の容器を有し、

前記第 1 の容器は、上部パーツと下部パーツを有し、

前記第 2 の容器は、上部パーツと下部パーツを有し、

前記第 1 の容器の上部パーツは、第 1 の加熱手段に取り囲まれ、

前記第 1 の容器の下部パーツは、第 2 の加熱手段に取り囲まれ、

前記第 2 の容器の上部パーツは、第 3 の加熱手段に取り囲まれ、

前記第 2 の容器の下部パーツは、第 4 の加熱手段に取り囲まれ、

前記第 1 の加熱手段乃至前記第 4 の加熱手段は、互いに異なる電源に接続されているこ
とを特徴とする製造装置。